

高活協通信(2021年10月号)

発行：一般社団法人 高齢者活躍支援協議会

<http://www.agenomics.org>

◆◆◆高活協ニュース◆◆◆

■お知らせ

○高活協通信「今月の一冊」は、「傘寿まり子(全16巻)」です。

○高活協ホームページを更新しました。

・「高活協ホームページ」の URL は以下の通りです。

<http://www.agenomics.org>

高活協は会員の皆様に毎月 1 回「高活協通信」を配信させていただいております。この通信活動を会員の皆様と高活協とのコミュニケーションの機会とさせていただきたく考えております。つきましては、皆様のご意見や提供したい話題などがございましたら、本配信メールへの返信にてお寄せいただきたく存じます。

■2021年9月の主な活動

○高活協は現在、新型コロナ禍のため、セミナーやシンポジウムなど人が多く集まるイベント活動を自粛しております。ただし、少人数での会議や ZOOM 等を利用したオンラインでの会議・イベント等は感染状況を睨みながら適宜実施しております。

○高活協ホームページを更新、「高活協アーカイブ」ページに「高活協通信(2021年9月号)」を追加掲載しました。

○2021年9月、生涯現役社会の実現に向けた行政や企業などの動向に関する情報収集を行いました。なお「70歳就業法」関連情報は、「◆◆◆生涯現役社会の実現に向けてー トピックス◆◆◆」のコーナーに、適宜掲載していきます。

◆◆◆高活協主催/共催イベントの紹介◆◆◆

■これまで高活協が主催した(共催含む)イベントの報告書/記録集

過去に高活協が主催・共催したイベント(シンポジウム、セミナー/フォーラム)の報告書や記録集は、高活協ホームページの「高活協アーカイブ」ボタンをクリックしてご覧になれます。(ホームページは下記 URL)

<http://www.agenomics.org/>

■高活協会員関連イベント等のご紹介

高活協が提案し、「生涯現役の日」制定・普及委員会（高活協は共同事務局代表）によって制定された「生涯現役の日」の認知度も徐々に上がってきています。今月は、高活協が加盟している高齢社会 NGO 連携協議会のホームページに「生涯現役の日」関連イベントが掲載されていますので、その URL をご紹介しておきます。

高齢社会 NGO 連携協議会のホームページ

<https://www.janca.jp.com>

*** 会員のご希望があればご紹介（ご案内）記事を適宜掲載させていただきます ***

◆◆◆生涯現役社会の実現に向けて — トピックス◆◆◆

生涯現役社会は、「健康寿命」、「職業寿命」、「社会活動寿命」、「資産寿命」という 4 つの寿命が共に伸びる社会、つまり「それぞれの寿命の伸びが相互に他の寿命も伸ばす」という好循環がもたらされる社会です。そんな生涯現役社会の実現に向けた最近の動きを紹介していきます。

■70 歳就業法 — 職業寿命の延伸と生産性の向上を両立させられるかが鍵

○本年 4 月から「70 歳就業法」が施行され、企業等に 70 歳までの就業確保措置の努力義務が課されることになりました。企業等にとっては、「70 歳就業法」の施行を、単に国による職業寿命の延伸政策ととらえるのではなく、全社的な雇用・人事制度を見直し、社員の意欲と生産性を高めるための機会と位置づける必要があります。

○今後このトピックスのコーナーでは、「70 歳就業法」の施行に関連した情報を適宜掲載していきます。企業等の人材活用戦略などの参考にしていただければ幸いです。

「70 歳就業法」では努力義務として 70 歳まで就業確保措置を講ずることを求めています。雇用による措置としては、①70 歳まで継続雇用、②70 歳定年の導入、③定年廃止、といった選択肢が想定されています。65 歳までの雇用義務が課されている現状では、「60 歳定年、65 歳まで継続雇用」とする雇用制度を導入している企業等が大多数となっています。これらの企業等が、60 歳定年のまま継続雇用を 70 歳まで延ばすのか、あるいは定年を 65 歳に引き上げ 70 歳まで継続雇用を目指すのか、今後の動向から目が離せません。いずれにしても企業等では「70 歳就業法」を機に、雇用・人事制度の見直しを迫られることになると思われます。鍵はどうすれば社員の意欲と生産性を高めることができるかです。今回は、「65 歳定年、70 歳まで継続雇用」制度を導入した明治安田生命の事例を紹介させていただきます。明治安田生命の事例は、すでに新聞や経済誌でも報道されてきましたが、以下の内容はそれらの記事から適宜ピックアップして引用したものです。

「65歳定年、70歳まで継続雇用」制度導入事例 — 明治安田生命のケース

明治安田生命保険は今年4月から定年後の再雇用制度を刷新し、これまで最長65歳としてきた嘱託再雇用の年齢上限を70歳に引き上げた。年齢にとらわれず働く意欲のあるシニア層の就業機会を広げる狙いだ。同社は10年後の職員総数の自然減、とりわけリーダー役を担う40代が4割強減少し手薄になるのを見据え、これまでの経験や知見を生かしたシニア層の戦力化が不可欠として新制度を創設した。4月1日に施行された70歳までの就業機会の確保を企業の努力義務とした改正高齢者雇用安定法にも対応した。

同社は2019年度に生保大手でいち早く65歳定年制を導入した。役職定年制も廃止し、「総合職(シニア型)」として従来の定年60歳を超えても管理職として活躍できる制度に刷新した。

一方で、定年退職後のライフプランなどを描いてきたシニア層の多様なニーズも吸い上げ、65歳定年制導入に伴い、本人の希望により60歳で退職し、最長65歳まで嘱託再雇用で働ける制度を併設した。

定年までの経験・役割を踏まえ「月間15日間勤務」「週5日6時間勤務」など、個人それぞれに見合った11ランクの勤務形態を設けている。1年ごとの契約更新が必要で、今回の制度刷新で会社側の所定基準を満たせば最長70歳まで嘱託として働き続けることができる。総合職(シニア型)の職員も65歳以降は嘱託再雇用として70歳まで継続勤務が可能となる。

嘱託再雇用の場合、年収水準は65歳以前の総合職(シニア型)の6~7割程度で、65歳以降も同じランクなら給与水準が年齢によって下がることはない。4月1日時点で60歳を超える職員は総合職(シニア型)と嘱託再雇用を合わせて700人を超える。

◆◆◆読み物コーナー◆◆◆

■今月の1冊

人生100年時代を迎え、シニア層の増加を意識した書籍が増えているようです。このコーナーでは、高齢者の就労に関わるテーマや高齢者の社会参加、ライフスタイル、健康問題などを取り上げている書籍を紹介します。

書名：さんじゅ傘寿まり子(全16巻)

著者：おざわ ゆき

出版社：講談社

(URL <https://kc.kodansha.co.jp/title?code=1000028668>)

定価：各巻638円~726円(税込)

傘寿(80歳)の現役女性作家・幸田まり子が活躍するコミック。女性向けコミック誌に5年にわたって連載して、単行本の最終巻(第16巻)が2021年7月に発刊されました。単行本が16巻を数えるコミックは、ヒット作と言っても過言ではないでしょう。

一般的なイメージからは、80歳の主人公が活躍するコミックのヒットは異例かもしれませんが、むしろ、こう

したコミックが多くの読者に受け入れられたということ自体が、日本の高齢化の進展を象徴しているのかもしれませんが。この作品が2018年に「講談社漫画賞」を受賞したのも、そうした視点が評価されたものと思われます。

物語は、現役の作家ではあるものの、年齢とともに活躍の場が先細りになり、また同居する家族からも必要とされていないことを知った主人公が意を決して家出を断行。パートナーとなった捨て猫とともに、マンガ喫茶に寝泊まりしながら人間関係を広げ、新たな仲間たちとともに作家として活躍する場を立ち上げて、最後には大きな文学賞を受賞するというもの。まり子が家出してから、バラバラになってしまったまり子の家族もひとつにまとまるという「おまけ」も付いてきます。高齢者を取り巻く厳しい現実は一ひとも脇に置いて、まり子のサクセスストーリーから元気をもたらしてみたいかがでしょうか。「大人買い」(全巻まとめ買い)してもお勧めです。

なお、作者のおざわ ゆきさんのインタビュー「80歳のヒロインが道の世界で奮戦 高齢者の“いま”と“強さ”を描く」が月刊『エルダー』(2020年7月号)に掲載されていますので、ご参照ください。

https://www.jeed.go.jp/elderly/data/elder/book/elder_202007/html5.html#page=3

(個人賛助会員:坂巻 大)

■高齢者雇用の総合誌『エルダー』2021年10月号(2021年10月1日発行)のご紹介

発行:独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

<http://www.jeed.go.jp/elderly/data/elder/index.html>

<特集>令和3年度 高年齢者活躍企業コンテスト

～厚生労働大臣表彰受賞企業事例から～

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構では、厚生労働省との共催で、「高年齢者活躍企業コンテスト」(※2020年までの名称は「高年齢者雇用開発コンテスト」)を毎年開催しています。このコンテストは、高齢者が年齢にかかわらず生涯現役で生き生き働くために、人事制度の改定や職場環境の改善などに、創意工夫をして取り組む企業を表彰するものです。改正高年齢者雇用安定法により70歳までの就業機会確保が努力義務となった令和3年度は、厚生労働大臣表彰6編、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長表彰優秀賞6編をはじめとする、全19編の受賞が決まりました。本誌では、10月号と11月号の2回に分けて、コンテストの表彰事例を特集します。今号では、厚生労働大臣表彰受賞企業事例を紹介します。

審査委員長からのメッセージ

法政大学経営大学院教授 藤村博之

最優秀賞 株式会社ササキ(山梨県韮崎市)

優秀賞 株式会社アールビーサポート(三重県津市)

イオン九州株式会社(福岡県福岡市)

特別賞 株式会社壮健(岐阜県各務原市)

前原製粉株式会社(兵庫県姫路市)

株式会社美装管理(大分県別府市)

<連載>

○リーダーズトーク(No.77)

だれもがフリーランスになり得る時代 社外活動を通じた事前準備を

プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会 代表理事

平田麻莉さんに聞く

○江戸から東京へ 作家 童門冬二(第 107 回)

ユニークな家長 頼又十郎

○高齢者の職場探訪 北から、南から(第 112 回)

福井県 益茂証券株式会社

○高齢社員のための安全職場づくり(第 10 回)

切創災害の防止

労働安全衛生総合研究所 安全研究領域長 高木元也

○生涯現役で働きたい人のための NPO 法人活動事例(第 5 回)

認定特定非営利活動法人 経営支援 NPO クラブ

○知っておきたい労働法 Q&A(第 41 回)

定年後再雇用における職務内容変更の限度、退職の意思表示の種類と取扱い

○いまさら聞けない人事用語辞典(第 17 回)

「時間外労働」

株式会社グローセンパートナー 執行役員・ディレクター 吉岡利之

○日本史に見る長寿食(vol.336)文化史研究家 永山久夫

強精食材だったギンナン

○目ざせ生涯現役！ 健康づくり企業に注目！（第 3 回）

大橋運輸株式会社(愛知県瀬戸市)

○イキイキ働くための脳力アップトレーニング！（第 52 回）



配信先メールアドレスの変更をご希望の方、また配信が不要な方は高齢者活躍支援協議会・事務局までご連絡ください。

本通信に対するご意見やご感想をお聞かせください。

また、本通信に掲載してほしい情報等がありましたら、ぜひご連絡ください。

一般社団法人高齢者活躍支援協議会

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 17-2 兜町第 6 葉山ビル 4 階

TEL: 03-6555-3926

HP: <http://www.agenomics.org>